

資料提供(平成 28 年 10 月 4 日)

担当者：和歌山県過疎対策課

萩、岩橋

電話：073-441-2930 (内線 2930)

※日高振興局同時提供

「大学のふるさと」活動



全国 53 件の応募中 2 位の「優秀賞」受賞！ “産学連携ツーリズムセミナー”（東京）で、 摂南大学生が由良町での調査結果を発表

平成 26 年 10 月 8 日に「大学のふるさと協定」を締結した由良町と摂南大学（大阪府寝屋川市）は、地域活性化のための様々な取り組みを進めています。

9 月上旬には、昨年から学生が中心となって進めている由良町での観光活性化のためのフィールドワークを展開し、特に今年は住民向けにワークショップを行いました。

9 月 23 日、これまでの調査結果をもとに、由良町への観光振興に関する研究成果をまとめた経済学部植杉大教授のゼミ生 3 人が、東京で開催された“2016 年度産学連携ツーリズムセミナー”（主催：公益社団法人日本観光振興協会）で発表。全国から応募のあった 53 チームから論文審査を経て選抜発表した 4 大学の中で、見事 2 位の「優秀賞」(※)に輝きました。(※)受賞は 1 位の最優秀賞と優秀賞の 2 件のみ

審査員からは、地域住民が主体となる取り組み（住民ワークショップを実際に開催）や先行事例の調査などが、新規性・実現可能性の面から高く評価され、受賞につながりました。

当日は、由良町役場担当者も応援に駆けつけ、受賞の喜びを分かち合いました。

記



写真①：プレゼンテーションを行う、リーダーの大軽優哉さん



写真②：300 人を超える聴講者を前に発表



写真③：発表チーム（受賞後）

<2016 年度産学連携ツーリズムセミナーの概要>

1. 日 時：9月23日（金）14：00～17：00
2. 場 所：東京ビッグサイト 会議棟6階 607・608（東京都江東区有明3-11-1）
3. 学生による観光振興に関するアイデア・研究発表
「郷土愛が創る！温もりあふれる自然のホテル『グランピューラ』」

<発表内容の概要>

宿泊客に対するキャパシティが不十分である由良町の現状から、アメリカを発祥として世界で親しまれ、近年日本でも普及しつつある、提供型キャンプ形式の宿泊サービス「グランピング」に着目。

フィールド調査や地域住民とのワークショップを重ね、地域住民が主体となったグランピング企画・開設・運営を模索し、産（官）学民で地域一体となった観光振興の実現を提言した。

なお、「グランピューラ」とは、「グランピング+由良」の造語。

4. 成 績：優秀賞（応募件数53チーム中、2位）
5. 聴講者：313人

産学連携ツーリズムセミナーサイト

<http://www.nihon-kankou.or.jp/home/committees/report/event/20160923.html>



写真④⑤：9月6日に由良町で開催したワークショップの様様

<大学のふるさと問い合わせ先>

担当	和歌山県	由良町	摂南大学
	過疎対策課 萩、岩橋	総務政策課 寺井	地域連携センター 古屋
電話	073-441-2930（内線2930）	0738-65-1801	072-829-0385

<発表内容問い合わせ先>

担当	摂南大学
	経済学部事務室 濱崎
電話	072-839-8120